

様式第1号（第6条関係）

富士見市提案型協働事業概要書

令和7年9月10日

(宛先) 富士見市長

団体の名称 富士見市資料館友の会拓本部会
 代表者氏名 塩入たま江
 提案希望者
 所在地 [REDACTED]
 電話番号 [REDACTED]

団体概要	事務所の住所	[REDACTED]
	主な活動場所	難波田城資料館
	構成員数・	6人
	従業員数	うち市内在住・在勤・在学者の人数 3人
事業の名称	富士見市石造物調査報告書〔Ⅲ〕南畑編の調査事業	
事業の内容	現在の課題	当該団体ではこれまで40年以上石造物調査を行い市内石造物の把握、記録、そのための技術の向上に努めてきた。 その成果は『富士見市石造物調査報告書Ⅰ、Ⅱ』の刊行、市教育委員会刊行の『富士見市文化財目録』等様々に反映されている。 しかし活動メンバーの高齢化、活動資金の不足により、残る南畑地区の報告書の刊行、技術継承が困難になっている。
	解決方法	資料館及びそこに所属する市民学芸員と協働することで、報告書の刊行に必要な調査を可能にする。 また本調査では、デジタル技術を活用した新たな記録方法も併用し、石造物の3D記録など多様な情報の取得を図る。これらの記録方法はスマートフォン等を用いても可能であり、そこから若年層の興味・関心・参画を促し技術継承を図る。
	効果	本事業で、市域全体にある石造物の現状把握が可能となる。その成果は、行政による石造文化財の保存・活用の円滑化につながる。 また地域住民は、身近な石造物を再認識し、それが文化の再興へとつながり得る。こうした成果は市の文化振興を促進し、さらに他地域への波及効果も期待できる。
役割分担	団体	南畑地区石造物の調査とその結果の整理。拓本技術をはじめとする地域調査技術の伝承を担う。また南畑編の調査終了後は、報告書刊行の準備及び、資料館企画展への協力等調査結果の活用を行う。
	市担当部署	石造物調査の際のデータ解析。館のボランティアである市民学芸員と友の会拓本部会との協働の調整。 そして次年度以降、本事業を基に、企画展の実施、報告書の刊行作業の補助に取り組み、調査結果の周知・活用を行う。

*任意の書式で事業の資料を添付してください。